CASIO

Logosease II LGS-RG007
Logosease II LGS-RG007-SAR

# 取扱説明書

ver.1.1

山形カシオ株式会社

製品サイトでは、ソフトのダウンロードや問い合わせなど、各種サービスをご利用いただけます。

**https://logosease.yamagata-casio.co.jp**

公式HPにて、使い方を動画で見ることができます。右のQRコードからアクセスしてください。

目次


安全に正しくお使いいただくために
1. 使用上のご注意
2. 本機の特徴
3. 各部の名称・同梱品一覧
4. 電源 ON/OFF
5. 装着方法
6. 送信・受信の切り替え（1 回タッピング）
7. ダイビング情報の音声案内（2回タッピング）
8. トレーニングモード（3回タッピング）
9. ホイッスルモード（5回タッピング）
10. 各種設定
　10－1：メニュー
　10－2：ログ
　10－3：プラン
　10－4：ヒストリー
　10－5：音声案内
　10－6：設定
11. 充電方法
12. 音声データ、ログデータの取り出し方
13. ダイビング後のメンテナンス方法
14. 内蔵充電池の取り扱いについて
15. 故障かな？と思ったら
16. 製品仕様


お買い上げありがとうございます。 ご使用の前に「使用上のご注意」をよくお読みの上、 正しくお使いください。

## ■安全に正しくお使いいただくために

表示について

**⚠ 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

**⚠ 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

このマークは「禁止内容」を表しています。

安全に関する重要事項は、 あなたと他の人々への危害・財産への損害を未然に防ぐために必ず守ってください。

## 1. 使用上のご注意

### ⚠ 警告

本機は、 水中での安全を保証するものではありません。

通話が途絶えると危険に陥る状況下での使用はご遠慮ください。 また、 緊急連絡を主な用途として使用しないでください。

本機を分解・改造しないでください。

異常状態で使用しないでください。 発熱・煙が出ている・異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、 火災・感電の原因となります。

車内等の直射日光があたる高温の場所に放置しないでください。

充電スタンドに本機をセットするときは、 よく水分を拭き取ってから行ってください。 特に、 USB 端子の部分の水分がついていないことをご確認ください。 水滴が付着しますと、 USB に接続してある PC などの機器が壊れる可能性もあります。

通電中の本機を暖房器具の近くに置かないでください。 内部の温度が上がり、 火災・やけど・故障の恐れがあります。

USB ケーブルを傷つけたり、 破損させたりしないでください。 また、 重いものをのせたり、 加熱したりしないでください。 火災・感電の原因となります。

### ⚠ 注意

LGS-RG007 は耐水圧 55m、LGS-RG007-SAR は耐水圧 70mとなっております。 それ以上の深さに持ち込むことはご遠慮ください。

※レジャーダイビングの限界水深は 40m までです。

・高圧エアーで水分を吹き飛ばす事は行わないで下さい。 内部への水の進入の原因になることがあります。

・本機を薬剤に浸けておくと劣化の原因となります。 整髪料や中性洗剤、 日焼け止めなどがついた場合は速やかに真水で洗い流してください。

・地面等への落下はさせないでください。エントリーは普通にしていただいてかまいません。

## 2. 本機の特徴

■本機は、 水中マスク、 レギュレータなどのレジャーダイビングの装備をつけたままで会話ができる通話機能を搭載するダイブトランシーバーです。 また、 水深、 ダイブ時間、 NDL などのダイビング情報や浮上速度警告、 安全停止などダイビングに関する警告などを音声で案内するダイブ機能を搭載しております。
通話機能は従来の Logosease（RG004,RG005）と完全に互換性があるため会話も可能です。
ダイビング器材と干渉せず、 ダイビングの邪魔にならないコンパクトな形状は、 マイク、 スピーカー共に骨伝導方式にすることで実現しています。

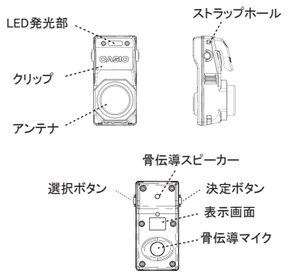
■本機は、 トランシーバーと同じように会話できます。 話したいときに送信モードにし、 話し終わると受信モードに戻ります。 電話のように送信と受信を同時におこなうことはできません。
一台が送信すると、 周りの全ての装置が受信できます。 複数が送信すると、 混じり合った声に聞こえます。

■送信・受信の通信は超音波を使っています。 お互いのアンテナの向きなどにもよりますが、 近くの人の声が大きく、 遠くの人の声が小さく聞こえます。 岩陰に隠れた時も声が小さく聞こえます。

■お使いはじめは、レギュレータを咥えて話すトレーニングをおこなうことがスムーズな会話コミュニケーションの重要なポイントになります。トレーニングモードを活用して自分の声を確認してください。

## 3. 各部の名称・同梱品一覧

〔 各部の名称 〕




〔 同梱品 〕

充電スタンド　USB ケーブル　ストラップ

基本的な使い方 兼 保証書

クイックスタートガイド

## 4. 電源 ON/OFF

〔 電源 ON 〕

開梱後は最初に充電を行ってください。電源をONにする場合は左右のボタンを同時に押すか、水検出端子部を水に入れると電源が自動でONになります（※1）。
電池残量は表示画面または図のようにLED発光部の色で確認できます（※2）。

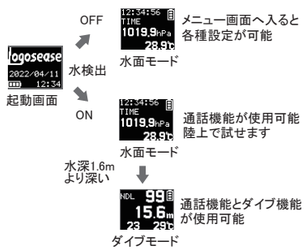
※1 電源 ON

選択ボタンおよび決定ボタン同時押し　水検出スイッチ

※2 残量確認

表示画面部　LED発光部

・電池残量が完全に空になると日付がリセットされ電源ON時に表示画面が日付設定画面になります。選択ボタンと決定ボタンを使って日付設定して ください。
・LED発光部は、電源を入れた最初の2秒間だけ点滅します。



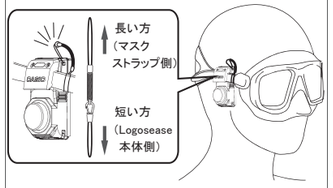

通話機能は、6. 送信・受信の切り替え、8. トレーニングモード、9. ホイッスルモードの項目を参照願います。
ダイブ機能は、7.ダイビング情報の音声案内の項目を参照願います。

〔 電源 OFF 〕

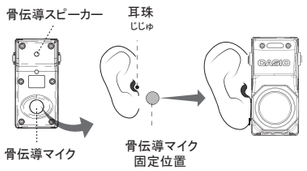
ボタン操作しない状態で1分間放置、もしくは水検出スイッチがOFFになってから1分間経過すると自動でOFFになります。また、両方のボタンを同時に長押しで、手動でOFFにすることもできます。
ただし、ダイビング終了時（1.6m以浅に戻って以降）は、10分間のSURFモードが終了しないと電源をOFFにできません。

## 5. 装着方法

まず、落下防止ストラップの短い方の輪を本体に取り付け、長い方の輪をマスクストラップに取り付けます。
そのあと、本体のクリップを、マスクストラップに引っかけるようにして装着してください。




〔 骨伝導マイク固定位置 〕




骨伝導マイクは耳珠（じじゅ）の前方下側にセットしてください（図参照）。骨に直接当てなくても小さな振動を拾うので、マイクを当てても痛くならない位置で、顔に密着させてください。なお、骨伝導スピーカーの当たる位置は聞こえ方に大きく影響しません。

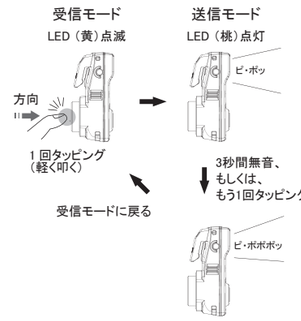
〔 フードとの併用について 〕

■フードをご使用する際は、必ずLogosease専用フード（別売）をご使用ください。
ネオプレン生地は、振動（声や超音波信号）を吸収してしまうため、専用ではないフードの上にLogoseaseを装着すると、骨伝導マイクがうまく声を拾えません。
また、フードの中に装着すると、アンテナが覆われて超音波通信が阻害されます。

## 6. 送信・受信の切り替え（1回タッピング）

アンテナを下図の方向に1回だけ指でタッピング（軽く叩く）して下さい。骨伝導スピーカーから「ピ・ポッ」という音が聞こえて、送信モード（話す）になります。もう一度タッピングするか、3秒間無音が続くと「ピ・ポポポッ」という音が聞こえて受信モード（聞く）に切り替わります。

※加速度センサーによってタッピングを検知しています。アンテナの方向に叩いて下さい。



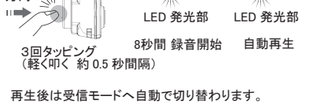

選択ボタンを1回押しても送信モードに切り替わります。

## 7. ダイビング情報の音声案内（2回タッピング）

Logoseaseは、ダイビング情報を音声で案内します。
アンテナを2回だけ指でタッピング（軽く叩く）してください。
水深1.6mを超えるとダイブモードとなり水深、ダイブ時間、NDLを音声で案内します。浮上スピード、安全停止などの警告は自動で音声案内されます。
メニュー画面の[音声案内]のカスタム設定で音声案内の内容を変更できます。

## 8. トレーニングモード（3回タッピング）

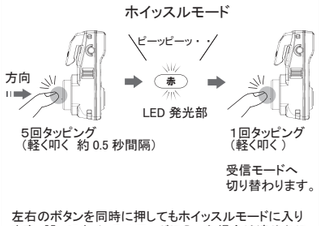
トレーニングモードは、上手な会話方法を学習する為のモードです。受信モードからアンテナを3回だけ指でタッピング（軽く叩く）してください。トレーニングモードに切り替えると、お客様の音声が一時的に8秒間だけ録音・再生されます。自分の音声が、どのような発音で相手に届いているかを確認することができます。発音の練習や音量、骨伝導マイクの装着位置の確認にご活用ください。




再生後は受信モードへ自動で切り替わります。

## 9. ホイッスルモード（5回以上タッピング）

「ピーッ、ピーッ」というブザー音をLogoseaseを装着している他のダイバーへ送信することができる機能です。
5回以上タッピングすると「ピーッ、ピーッ」というブザー音を連続して送信し続けます。その際、スピーカーからも同じブザー音が鳴ります。もう一度タッピングすると、受信モードに戻ります。様々な合図として活用していただけます。

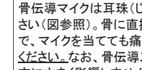



左右のボタンを同時に押してもホイッスルモードに入ります。誤ってホイッスルモードに入った場合は速やかに受信モードに戻してください。

## 10. 各種設定

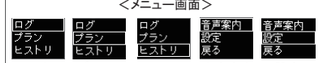
### 10-1. メニュー

左右のボタンを同時に押して電源をONしてください。
起動画面が表示されてから水面モードになります。




水面モードで選択ボタンを押すとメニュー画面になります。選択ボタンで項目を選んで、決定ボタンで設定する項目に入ってください。[戻る]に入ると、水面モードに戻ります。
3分間ボタン操作が無い場合、自動で電源がOFFします。

＜メニュー画面＞




### 10-2. ログ

[ログ]に入ると最新のログが表示されます。決定ボタンを押すと詳しいログ情報が見れます。

選択ボタンを押すたびに1つ前のログが表示されます。5つ戻る度に[戻る]画面が出るので行き過ぎた場合は決定ボタンを押して戻ってください。

### 10-3. プラン

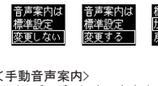
[プラン]画面に入り、選択ボタンで[水深]を選択してください。酸素濃度を変更する場合は、メニュー画面の[設定]から[ダイビング]設定で酸素割合を変更してください。

### 10-4. ヒストリー

[ヒストリー]画面に入るとこれまでのダイビング回数、時間、最大水深が表示されます。

### 10-5. 音声案内

[音声案内]画面に入り、標準設定を変更する場合は選択ボタンで[変更する]にして決定ボタンを押してください。
[カスタムに設定]を選んで決定ボタンを押すと、音声案内の設定を好みに変更できます。初期設定に戻したい時は[標準に設定]を選択して決定ボタンを押してください。




＜手動音声案内＞
2回タッピングした時の音声案内の設定を変更することができます。標準設定は下記になります。

・水深　　・・・ON
・潜水時間　・・・ON
・NDL　　・・・ON
・水温　　・・・OFF

＜自動音声案内＞
下記は自動で流れる音声案内の設定の一部を変更することができます。

・潜水時間インターバル通知　・・・10分ごと
（カスタム選択：5分、10分、15分、20分、30分、OFF）
※標準設定ではダイビング開始から10分ごとに水深、潜水時間、NDLを音声案内します。

・水深インターバル通知　・・・5mごと
（カスタム選択：5m、10m、OFF）
※標準設定では5mごとの設定になり、5m、10m、15m・・・と5mごとに案内します。設定水深を超えた時点で取得した水深値なので、ピッタリの水深ではありません。

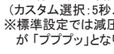
・設定水深超で通知　・・・OFF
（カスタム選択：18m～50m、OFF）
※カスタム設定で18mを選択した場合、水深18mを超えている間は1分ごとに現在水深を音声案内し続けます。

・設定NDLで通知開始　・・・15分
（カスタム選択：3分、6分、9分、12分、15分）
※標準設定ではNDLが残り15分になると無限圧潜水時間を音声案内します。次の案内は残り12分、残り9分・・・と残り時間が3分間隔で音声案内します。

・減圧警告の再通知　・・・3分ごと
（カスタム選択：1分～15分）
※標準設定では減圧潜水が必要になった時、3分ごとに減圧停止の音声案内をします。

・減圧停止中の時報音　・・・10秒ごと
（カスタム選択：5秒、10秒、20秒、30秒、OFF）
※標準設定では減圧停止中に10秒経過ごとにブザー音が「プププッ」となります。

標準設定を変えた場合は、音声案内はカスタム設定との表示になります。




標準設定から1箇所でも変更した場合はカスタム設定になります。標準に戻す場合は[変更する]で戻してください

### 10-6. 設定

[設定]画面に入ると各種設定ができます。

ダイビング　通話設定　日時設定　単位設定　ソフトVer

[ダイビング]画面に入ると酸素割合、安全率、総ダイブ数を変更できます。

酸素割合は21%～50%に変更可能。
初期設定は21%です。

安全率はSF0、SF1、SF2に変更可能。
初期設定はSF0です。

総ダイブ数は0～9999に変更可能。

[通話設定]画面に入ると通信チャンネル、スピーカー音量、音声スイッチ（VOX）を変更できます。

A、B、Cのチャンネルに変更可能。
Aチャンネルが初期値です。

通信チャンネル毎に通信特性が異なります。Aチャンネルが最も送信パワーがあり、BとCチャンネルは送信パワーがAチャンネルよりも落ちます。混信時はBチャネルかCチャンネルを使うことで、近くで会話を楽しむことが出来ます。尚、BチャンネルとCチャンネル同士は近くで話すと話の内容は伝わりませんが、干渉する場合があります。

・Aチャンネル：　受信時は黄色点滅
・Bチャンネル：　受信時は青色点滅
・Cチャンネル：　受信時は水色点滅

スピーカー音量は1～5に変更可能。
5が初期値で最大音量になります。

音声スイッチ（VOX）で送信に切替えます。
初期値がOFFです。

音声スイッチ（VOX）で起動をONにすると、送信の切り替えを声で行うことができます。話す前に「いっ！」などの声を出すと1回のタッピングをすることなくハンズフリーで送信モードに切り替えることができます。この機能は送信への切り替えのみで受信モードに戻す時は、3秒間無音になるか、タッピングして受信モードに戻してください。

[日付設定]画面に入ると日付を変更できます。
設定ボタンと決定ボタンで変更し、最後に[保存]で決定ボタンを押してください。

[変更する]で決定ボタンを押す

年、月、日、時、分、秒を設定する。

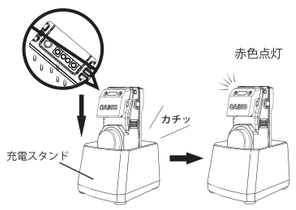
[保存]で決定ボタンを押す。
日付設定をやり直す場合は[戻る]で決定

[単位設定]画面に入ると単位が表示されます。
水深の単位と温度の単位を確認できます。日本語版では、水深の単位はメートル、温度の単位は摂氏℃のみとなります。
[ソフトVer]画面に入ると本体のソフトバージョンが確認できます。公式HPで最新のソフトがあれば専用ツールを使って最新ソフトに更新してください。

## 11. 充電方法

本機はリチウムイオンバッテリーを内蔵しており、USBによる充電が可能です。本機は満充電状態で約5時間駆動します。1日のダイビングが終わりましたら充電してください。付属のUSBケーブルで充電スタンドとUSB充電が可能なポートを接続してください。
本機のUSB端子に水滴や塩などがついていないことを確認して、充電スタンドにカチッというまで押し込みます。充電中は、赤のLEDが点灯します。充電完了で赤のLEDが消灯します。充電が完了（約2時間）したら充電スタンドから引き抜いてください。

※LEDが点滅する等の場合は正常に充電できていません
正常に充電できない場合は、USB端子部分をブラシなどでこすり、清掃してから再度充電を行なってください。




## 12. 音声データ、ログデータの取り出し方

ログデータや音声データは従来のRG004やRG005と異なり、専用ツールを使って取り出します。
公式HPから専用ツールをPCにダウンロードしてご使用ください。

[音声データ仕様]
・8KHzサンプリングレート、モノラル
・16ビット量子化コード
・ファイル形式は、wav 形式です。
・最大266分の音声データを格納できます。

メモリ容量を超えると自動で古い音声データを消して新しい音声データを作成します。

[ログデータ仕様]
・サンプリング時間：5秒～80秒間隔
※ダイビング時間によって変動します。
・水深、水温、（残圧は項目のみ）、N2、O2、警告
・最大500本

500本を越えると自動で古いログデータを消して新しいログデータを作成します。
ログ作成の条件は、水深1.6m以上で3分以上経過した場合にログとして記録します。

## 13. ダイビング後のメンテナンス方法

使用後は必ず、毎回真水で洗い海水や汚れを取って、乾いた布で乾拭きをしてから保管してください。
特にUSB端子部に汚れが残ると不良の原因になります。汚れがある場合はブラシなどでこすり、清掃してください。
また、塩抜き時に送信中・受信中のものが混在するとハウリングする場合があります。全て受信モードにして塩抜きしてください。

## 14. 内蔵充電池の取り扱いについて

内蔵充電池を長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
電池の劣化を防ぐために長期間使用しない場合でも半年に1回程度充電してください。

■0～40℃の温度範囲で充電してください。範囲外の温度では充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。また、範囲外での充電は電池の劣化や故障の原因になります。

■低温環境でのご使用は、内蔵充電池の容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。

■内蔵充電池の劣化は、時間の経過でも進行します。
特に、満充電状態での高温保存（使用）は、劣化を招くことがあります。

■充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので内蔵充電池の交換となります。
販売店にご相談ください。（内蔵充電池の交換は有料です。）

■内蔵充電池は、リサイクルできます。製品を廃棄する際、内蔵バッテリーの取り外しはお客様ご自身ではおこなわず、山形カシオ マリンシステムまでご相談ください。

## 15. 故障かな？と思ったら

・充電しても本体の電源が入らない。もしくはすぐに電源が切れる。
→保護回路のヒューズが切れたか、内蔵充電池の寿命です。販売店にご相談ください。
内蔵充電池はメーカー交換となります。

・USB充電がうまく機能しない。
→本機および充電スタンドの接点部をブラシで清掃してください。0～40℃Cの温度環境で充電してください。

・水中で電源OFFになる。
→水検出部に気泡がつくと電源が切れる場合があります。指でコネクタ部をぬぐってください。

・エキジットしても電源OFFしない。
→水検出部に水が付着している場合があります。タオルなどで拭き取ってください。また、静電気などで電源が入る場合があります。その場合、1分後に自動で電源が落ちます。

・ハウリングする。
→壁がある狭い環境（浴槽など）ではハウリングすることもあります。

・相手の声が良く聞こえない。
→海況によって通信距離が変わりますが、下記のA～Eを試してみてください。
相手（送信側）の問題と、自身（受信側）の問題があります。

A　相手も送信モードだと相手は聞こえません。
B. 送信側の骨伝導マイクが 5.装着方法に記載されている場所に当たっていることを確認してください。
専用フード以外のフードを装着した場合、骨伝導マイクがうまく声を拾えません。専用フードをご使用ください。
尚、トレーニングモードで自分の声がどのように骨伝導マイクで拾えているか試してください。
C. アンテナ部にフード、気泡、その他付着物があると、送信・受信の性能が著しく低下します。確認してください。
D. 小さな声では届かないこともあります。陸上と同様に離れた人に呼びかける声の大きさで話してみてください。
E. 岩陰や浅瀬、流れの速いところでは、超音波がうまく届かない 場合があります。これは、故障ではありません。

・受信状態で、ノイズが聞こえる。
→呼気の際、空気がレギュレータを通る時に超音波が発生し、ノイズとして聞こえることがあります。
レギュレータの構造によりノイズの度合いは異なりますが、故障ではございません。
また、近くで水中カメラのストロボを発光した場合や、水中スクーター、魚群探知機なども超音波を発生する場合があります。故障ではございません。

・言葉が途切れる（言葉の頭が切れる）。
→発する言葉・声の大きさなどによっては、頭が切れる場合があります。その時の環境などによって度合いは異なりますが、故障ではございません。

・送信、受信が勝手に切り替わる。
→送信モードで無音が3秒間続くと、送信から自動的に受信モードに切り替わります。
また、音声スイッチ（VOX）をOFF→ONに設定変更した場合、レギュレータを吸った時に音声に似た雑音により送信モードに切り替わることがあります。故障でございません。

その他、詳しくは下記ウェブサイトのサポートページよりFAQをご確認ください。

**https://logosease.yamagata-casio.co.jp**

## 16. 製品仕様

| | | RG007 | RG007-SAR |
|---|---|---|---|
| 外装 | カラー | マットブラック、 マットイエロー | マットブラック、 マットイエロー |
| | サイズ | 83.5 ㎜ ×45.2 ㎜ ×39.5 ㎜ | 83.5 ㎜ ×45.2 ㎜ ×39.5 ㎜ |
| | 質量 | 約 119g | 約 119g |
| | 耐水圧 | 55m | 70m |
| | 使用温度 | 0℃～ 40℃ | 0℃～ 40℃ |
| 音響部 | マイク | 骨伝導方式 | 骨伝導方式 |
| | スピーカー | マグネチック型骨伝導方式 | マグネチック型骨伝導方式 |
| 通信部 | チャンネル | 3ch （Aチャンネル、Bチャンネル、Cチャンネル） | 3ch （Aチャンネル、Bチャンネル、Cチャンネル） |
| | 周波数 | （超音波）Aチャンネル：32KHz USB<br>Bチャンネル：36KHz USB<br>Cチャンネル：40KHz LSB<br>（音域） 4KHz、SSB-AM方式<br>※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。<br>※Bチャンネルとcチャンネルは近くで話すと話の内容は伝わりませんが、わずかに干渉する場合があります。 | （超音波）Aチャンネル：32KHz USB<br>Bチャンネル：36KHz USB<br>Cチャンネル：40KHz LSB<br>（音域） 4KHz、SSB-AM方式<br>※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。<br>※Bチャンネルとcチャンネルは近くで話すと話の内容は伝わりませんが、わずかに干渉する場合があります。 |
| | アンテナ | セラミック圧電素子 | セラミック圧電素子 |
| | 最大通信距離 | 100m（Aチャンネル）<br>※相手との位置関係、波やうねり、透明度、障害物によって通信距離、 音声の明瞭度が変化します。 | 150m（A チャンネル）<br>※相手との位置関係、波やうねり、透明度、障害物によって通信距離、 音声の明瞭度が変化します。 |
| 表示部 | 有機 EL | 0.66 インチ /64×48 ドット（ 日本語表記 ） | 0.66 インチ /64×48 ドット（ 日本語表記 ） |
| | 電源スイッチON（電池残量表示） | 緑色点滅：十分な残量 / 電池マーク 3<br>青色点滅：ダイビング数回分の残量 / 電池マーク2<br>赤色点滅：要充電 / 電池マーク1 | 緑色点滅：十分な残量 / 電池マーク 3<br>青色点滅：ダイビング数回分の残量 / 電池マーク2<br>赤色点滅：要充電 / 電池マーク1 |
| | 送信モード | 桃色点灯 | 桃色点灯 |
| | 受信モード | Aチャンネル：黄色点滅<br>Bチャンネル：青色点滅<br>Cチャンネル：水色点滅 | Aチャンネル：黄色点滅<br>Bチャンネル：青色点滅<br>Cチャンネル：水色点滅 |
| | 充電中LED | 赤色点灯 | 赤色点灯 |
| | 充電終了LED | 充電が完了したら消灯 | 充電が完了したら消灯 |
| 操作部 | タッピング | タッピング 1 回：送信開始<br>タッピング 2 回：潜水情報音声案内<br>タッピング 3 回：トレーニングモード<br>タッピング 5 回以上：ホイッスルモード | タッピング 1 回：送信開始<br>タッピング 2 回：潜水情報音声案内<br>タッピング 3 回：トレーニングモード<br>タッピング 5 回以上：ホイッスルモード |
| | ハンズフリー | 発声で送信モードに切替（初期状態は OFF） | 発声で送信モードに切替（初期状態は OFF） |
| | 操作ボタン | 左右に各 1 個 | 左右に各 1 個 |
| 電源スイッチ | ON | 水検知で電源ON ／左右のボタンを同時押し | 水検知で電源ON／左右のボタンを同時押し |
| | OFF | 1 分間水に入っていないと自動的に電源OFF | 1 分間水に入っていないと自動的に電源OFF |
| センサー | 水深 / 温度 | 0 ～ 70m /−45℃～ 85℃（使用範囲ではない） | 0 ～ 70m /−45℃～ 85℃（使用範囲ではない） |
| バッテリー | 定格 | Li-ion バッテリー 560mAh | Li-ion バッテリー 560mAh |
| | 充電方式 | USB 充電方式 （500mA 充電で約2時間） | USB 充電方式 （500mA 充電で約2時間） |
| | 持続時間 | 5 時間 （内、 10%が送信時間の場合） | 5 時間 （内、 10%が送信時間の場合） |
| | 保守 | Li-ion バッテリーはメーカー交換 | Li-ion バッテリーはメーカー交換 |
| 機能 | ボイスレコーダー | 最大 266 分録音可能（通信音声のみ録音） | 最大 266 分録音可能（通信音声のみ録音） |
| | トレーニング | 発声練習用（8 秒間録音後すぐに再生） | 発声練習用（8 秒間録音後すぐに再生） |
| | ホイッスル | 信号音連続発信 | 信号音連続発信 |
| | 音声アラート | 日本語（水深、ダイブ時間、NDL、水温、他警告音） | 日本語（水深、ダイブ時間、NDL、水温、他警告音） |
| | 潜水ログ | 500 本 | 500 本 |
| | PLAN | 各深度での NDL を表示（ 反復潜水対応） | 各深度での NDL を表示（ 反復潜水対応） |
| 付属品 | | 充電スタンド ×1、USB ケーブル ×1、ストラップ ×1、クイックスタートガイド ×1 | 充電スタンド ×1、USB ケーブル ×1、ストラップ ×1、クイックスタートガイド ×1 |